

# 案内人のオススメ

秋のどうだんつつじ

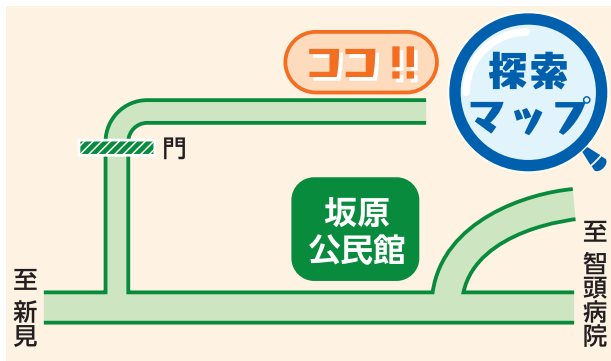
今回の案内人②



智頭どうだん部会部長の国岡洋之介さん。国岡さんの栽培するどうだんつつじには町外のファンも多い。せっかくなので、と一緒に連れて来ていた愛犬のマヤちゃんと。

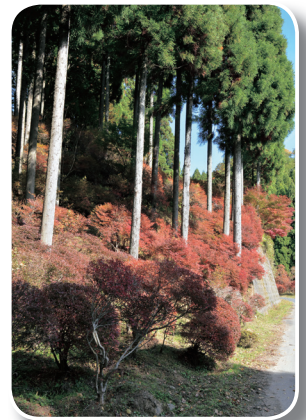


サラサドウダンの紅葉(左)。ベニドウダンやトウキョウドウダン(上の紅葉とは違い、サラサドウダンはオレンジ色に色づく。



地図中の門は猪や鹿などの侵入を防ぐためのもの。訪れる際は開け閉めをしっかりと。

一面に広がるどうだんつつじ。木陰の木はまだ紅葉が始まっていない。「もう少し寒くなれば、種を落として春に芽吹きます。そんな感じで絶え間なく生えてくるんです」と国岡さんは語る。



「来年のどうだんまつりに向けての意気込みを改めて聞くと、「1年間のお休みで時間を掛けることができ、例年以上のグレードの木が育ちました。コロナで来年どうだんまつりを開催できるか分からないけれども期待していただけ」と語られました。

「夏に雨が中々降らなかったのもあって結構葉が落ちてしまったけれども」と今年の紅葉の具合を語る国岡さん。色づいた葉は、「燃えるような見事な赤色」でした。「どうだんつつじの紅葉の色づきはどれだけ日光を浴びるかで変わります。種類にもよりますが、日を浴びる時間が短いとオレンジ色の紅葉になります。」

6月号でどうだんつつじの花を紹介しましたが、今月は紅葉をおすすめします。6月号でもお世話になった智頭どうだん部会部長の国岡洋之介さんに秋のどうだんつつじの魅力について案内していただきました。

問合せ先 役場企画課 ☎ 75-4112

※取材協力：智頭町森のガイドの会 / 国岡園